# 15［評論］『「上から目線」の構造』

　人間関係が苦手という人たちは、みんな人と距離とのとり方がわからなくて悩んでいる。相手との関係に応じて、それにふさわしい距離をとるのが人間関係のルールだが、その距離感がうまくつかめないのである。いわば対人距離失調症である。

　これはまさに精神分析でいうヤマアラシ・ジレンマ状況といえる。

　ある寒い冬の日、凍えそうになったヤマアラシのカップルがお互いの身体をａ温め合おうとして身を寄せ合った。近づけば冷たい風を避けられるので温かくなる。そう思って近づいたら、①お互いのトゲが相手を刺してしまうことに気づいた。痛くて飛びのくと、今度は寒い。そこで近づくと痛い。こんなことを何度も繰り返したあげくに、ヤマアラシたちは、お互いに傷つけ合わずに温め合える適度な距離を保つことができるようになった。

　これは哲学者ショーペンハウエルが描いたエピソードである。精神分析学者のフロイトが、このエピソードをもとに、ヤマアラシ・ジレンマという概念を精神分析にｂドウニュウした。ヤマアラシ・ジレンマとは、人と人の間の心理的距離をめぐる葛藤とアンビバレンスのことである。

　フロイトによれば、②夫婦関係、友情、親子関係など親密な感情を伴う二者関係は、ほとんどすべて拒絶し敵対するような感情的なしこりを含んでいる。同僚同士で争ったり、部下が幹部に不満を持ったりするのも、関係が近いからだという。［　　Ａ　　］ 、それは個人間のみならず、結婚によって結ばれた二つの家族、隣接した二つの都市や国家、近縁な民族など、集団間にも当てはまり、近ければ近いほどｃ克服しがたい反感が生じるという。

　心理的距離の近い個人や集団同士の間に、なぜこのような葛藤が生じるのか。フロイトはそれを自己愛で説明する。身近な人に対するあらわな反感や反発には、自己に対する愛情、つまり自己愛の表れが認められるという。距離が近くなればなるほど、その相手が自己愛の対象となるため、相手と自分のｄ些細な違いにも敏感になり、感受性の違いや価値観の違い、行動傾向の違いやｅシュミの違いなど、お互いの違いに対する寛容度が低下し、攻撃性が生じるというわけである。

　確かにそうだ。どうでもよい相手に対しては許せることでも、好きな相手だと許せない。単なる同僚に無視されてもすぐに気持ちを切り替えられても、恋人に無視されるとどうにも腹が立ってくる。心理的距離が近いほど、相手が自分の思い通りに動かないとき、こちらの思いをくみ取ってくれないときに、失意の気持ちや攻撃的な感情が湧いてくる。

　それは、ショーペンハウエルのエピソードで言えば［　　　Ｂ　　　］を、フロイト流に言えば自己愛のトゲで身近な相手を刺してしまうことをさすものと言える。

　交通手段の発達や情報網の発達により、現代人が日々かかわりを持つ人たちの数は飛躍的に増大した。そのため、個々の相手とどのような距離をとってつきあったらよいのかに頭を悩ます人が急増している。それは、引きこもりの増加の背景要因にもなっているのは間違いない。ちょっと親しくなると、他人の自己愛のトゲがこちらに向けて突き出してくる。うっかりすると傷を負う。そこらじゅうがハリのむしろだから気をつけないと。そんなふうに感じたら、怖くて外に出られなくなってしまうに違いない。反対に、ついつい自分の自己愛のトゲで大切な人を刺して傷つけてしまうといった経験を繰り返した人は、自分のトゲで人を刺すのが怖くて、人に近づくことができなくなってしまうだろう。

●語注

ジレンマ＝相反する事柄の板ばさみになること。

葛藤＝争いやもつれ。

アンビバレンス＝愛憎など、相反する感情を同時に持つこと。

◆漢字

本文中の二重傍線部ａ～ｅのカタカナを漢字に直し、漢字は読みをひらがなで記せ。

ａ〔　　　　　〕　ｂ〔　　　　　〕　ｃ〔　　　　　〕　ｄ〔　　　　　〕　ｅ〔　　　　　〕

問１　空欄Ａに入る最も適当な接続語を次から選べ。7点

ア　さらに　　イ　だから　　ウ　しかし

エ　むしろ　　オ　つまり

〔　　　〕

問２　傍線部①とあるが、「トゲ」とは何の比喩か。本文中から抜き出せ。9点

〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

問３　［6］段落と［7］段落の関係の説明として最も適当なものを次から選べ。 8点

ア　［6］は［7］を導き出すための前提を述べている。

イ　［7］は［6］をより一般的に言い換えている。

ウ　［6］と［7］とは並列で同じことを述べている。

エ　［7］は［6］の主張を部分的に否定している。

オ　［7］は［6］を裏付ける例や説明を述べている。

〔　　　〕

問４　傍線部②とあるが、その理由を答えよ。9点

〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

問５　空欄Ｂに入る最も適当な文を次から選べ。7点

ア　ヤマアラシがお互いのトゲが痛くて飛びのくこと

イ　ヤマアラシが身体を温め合おうとして身を寄せ合うこと

ウ　ヤマアラシが冷たい風を避けるために相手に近づくこと

エ　ヤマアラシが自分のトゲで身近な相手を刺してしまうこと

オ　ヤマアラシがお互いに傷つけ合わずに温め合える距離を保つこと

〔　　　〕

問６　本文の内容として最も適当なものを次から選べ。10点

ア　ヤマアラシ・ジレンマとは、哲学者と精神分析学者との共同研究によって生まれた概念である。

イ　心理的距離が遠いか近いかによって、お互いの違いに対する寛容度は増減する傾向がある。

ウ　近年、人との距離のとり方に悩む人が増えているのは、現代人の自己愛が昔より強まったからである。

エ　自己愛というものは、他人から傷つけられるよりも他人を傷つけることに注意しなければならない。

オ　恋人に無視されると腹が立つのは、実はその相手がどうでもよくなりつつあるからである。

〔　　　〕

【解答】

漢字　ａあたた（め）　ｂ導入　ｃこくふく　ｄささい　ｅ趣味

問１　ア

問２　自己愛

問３　オ

問４　ａ距離が近いほど相手が自己愛の対象となり、ｂ自他の違いに対する寛容度が低下しｃ攻撃性が生じるｄから。

〔ａ＝3点、ｂ＝3点、ｃ＝2点、ｄ＝1点〕

問５　エ

問６　イ

■覚えておきたい語句

□4　ジレンマ………………どちらとも決めかねている状態。板挟み。

□11　概念……………………物事の概括的な意味内容。

□12　葛藤……………………心の中にある対立する欲求や感情の選択に迷うこと。

□16　克服……………………努力して困難に打ちかつこと。

□19　対象……………………目標や相手のこと。〔外〕オブジェクト

□19　些細……………………取るに足りないわずかなこと。〔類〕些末

〔要　約〕

［1］と［9］段落は文章の枠組みの役割。

〈対人的な距離の問題について〉

話題の提示…［2］　まとめ…［4］

〈距離の近さと敵対関係の分析〉

話題の提示…［5］　理由の核心…［6］

提示よりもまとめの段落を重視し、［4］、［6］、［9］段落を中心に要約をする。

　　　　　↓

ヤマアラシ・ジレンマとは、人との心理的距離をめぐる葛藤のことだ。距離が近い関係ほど自己愛の対象となるので、互いの違いへの寛容度が低下し敵対的になってしまう。自己愛のトゲで傷つけ合う悩みは急増している。（100字）

〈筆者＆出典〉榎本博明（えのもと・ひろあき）一九五五年（昭和30）東京都生まれ。臨床心理学者。カウンセラーとして、子どもや若者のサポート、親や教師への啓発など、多方面で活躍。『記憶はウソをつく』『記憶の整理術』など著書多数。本文は、『「上から目線」の構造』（日本経済新聞出版社、二〇一一年）より。

【読みのセオリー】

★段落のつながり方を読み取る

　段落相互の関係を考えるには、次の二つに留意しよう。

１．後の段落の冒頭の表現を見る。

２．それぞれの段落の内容の類似点や相違点を見る。

　段落冒頭の接続語は段落関係を考える際には重要ポイントだが、それだけで判断するのは危険である。あくまでも、段落の内容相互を比べることが基本である。留意点の１は、段落関係の見当をつけるのに役立てよう。

■読みのセオリー［実践］段落のつながり方を読み取る

問３　6段落、7段落の関係を考えよう（2・3はどちらかに○をつけよう）。

１．後の7段落の冒頭の表現を見る。

［１　　　　　　　　］という表現に着目しよう。

　　　　↓

　前の6段落で述べていることを、全面的に［２肯定／否定］していることがわかる。

２．それぞれの段落の内容の類似点や相違点を見る。

　二つの段落は基本的に［３同じ／違う］ことを述べている。

〔解答〕　１確かにそうだ。　２肯定　３同じ

☆「セオラム補充問題」　問題は、次の３種類があります。

　　＊差し替え　　　……該当の問と差し替えるもの

　　＊追加　　　　　……同じ問で、追加された問題

　　＊新問　　　　　……追加可能な新たな問題

＊新問

問　3行目に「対人距離失調症」とあるが、それはどのような状態を指すか説明せよ。

［答］　相手との関係にふさわしい距離感がうまくつかめない状態。

　　　（相手との距離のとり方がわからなくて悩んでいる状態。）

＊新問

問　本文［2］段落と［3］段落との関係の説明として最も適切なものを次から選べ。

ア　２は３を導き出すための前提を述べている。

イ　２は３の説明によって否定されている。

ウ　２と３とは並列で同じことを述べている。

エ　２は３によって詳しく説明されている。

オ　２と３とは相互に関係のない内容である。

［答］　エ

＊新問

問　本文中で距離が近くない人間関係として挙げられているものを二つ抜き出せ。

［答］　どうでもよい相手

　　　　単なる同僚